

# 市民文芸

## 短歌

阿南市文化祭秋季短歌大会選

市長賞 中原きみ子

導火線手繰るに似たり炎天に枯れしかぼちやの蔓引く翁 亀島賀陽子

議長賞 寝た切りの母に届きし秋の風貝のモビール鳴らして渡る 井上 京子

教育長賞 番茶干しし昨日の指先そと嗅ぎて同窓会のホテルに入りぬ 喜来富士子

大会長賞 口下手な夫との会話恋しくてまた聴いてゐる最後の録音 岩崎 心奈

中学生の部入賞者 新野・福井中学校 茶碗の中いつもと違う雰囲気だ輝く新米宝石みたい 陶久 ゆめ

入選 カートンの影からそつと聞いている黄色い月の低い吹き 黒川 彩華

入選 炊飯器あけたとたんメガネくもるつやつやピカピカ今日は新米 川西 美結

入選 今始まる令和最初の青春が全力で駆けるこの一瞬を

入選 赤とんぼ雨上がりの空飛んでいた夕やけバックにかがやいた 田部 優月

入選 あの月は何年何億生きている流れる月日早いものだな 泉 春香

入選 七輪で焼けるサンマのいいにおい人の食欲をさそうおいしき 和瀨 匠真

入選 なんもない受験生つてつらいよね残された道は勉強だけ 和瀨有里加

## 俳句

阿南市文化祭俳句大会選

市長賞 村にまだ知らぬ径あり蓼の花 近藤 まい

議長賞 萩咲くや母に一匙づつの粥 神野千鶴子

教育長賞 野の虫を翔せて行けり乳母車 加藤 和子

俳連賞 夕月夜ズボンの裾の反射材 中川よし子

雲奔る回転上げしコンバイン 車田マサ子

剥落の仁王の目玉つくつくし 中富はるか

弾痕の鉄橋を打つ秋出水 喜来富士子

捨て舟をすっぽり覆う真葛かな 大西 裕子

刈田風窓全開に米を研ぐ 中野 郁子

山峡のちちははの墓秋澄めり 松田 桜子

刈り頃の早稲を倒して時化去りぬ 田中 栄子

## 川柳

阿南川柳会 田上鶴子選

一日の疲れをいやす子の笑顔 滝川 太郎

徳島の顔は浄瑠璃木偶頭 鈴木レイ子

星よりも願いが叶う赤い熨斗 野口 吾朗

常識の一つにしたいおもてなし 野村 敏子

ひとまずは心に留めてチャンス待つ 今日のを苦労するように湯が包む 二階千代美

一般応募 恙無くらしく生きよう年女 高木 旬笑

クラス会元氣のお裾分けもらおう 島尾美津子

藍色のジャパンブルーで阿波を編む 武田 敏子

使い捨てるにためらう苦勞人 仁井 信子

吉田 當代

## 漢詩

阿南漢詩研究会・青松吟社選

歲晚書懷 烏兔 忽忽 又一年 市田 嘉則

卒齡康健兩相全 卒齡 康健 兩相全し

虛心守職甘吾分 虛心 職を守り吾が分に甘んじ

不厭辛酸做聖賢 辛酸を厭わず聖賢に做う

眞田氏・上田城趾 奮然虎鬪 徳軍顛れ 高橋 静雄

盛衰榮枯 歳月遷る 遠く古城を訪ねて 往事を懐う

世人今語六文錢 世人今も語る 六文錢

寒梅 山家牆角暮寒生 山家の牆角 暮寒生じ 田中 公

芳信未聽新啼鶯 芳信未だ聴かず 新啼の鶯

月出欲醒高士夢 月出でて醒めんと欲す 高士の夢

※高士…梅の木